学校番号	323

令和８年度　教育科

教科	教育	科目	（学）教育数学基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書							
副教材等	クリアー数学Ⅱ＋B＋C（数研出版） 高等学校数学Ｂ　ナビゲーションノート「数列」「統計的な推測」						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この科目は、数列や統計の内容だけでなく、それを題材として教授する方法を学びます。単に問題を解くだけではなく、「人に教える」ことでより技能が磨かれていきます。この授業をきっかけに、伝える力や対話する力を高め、それらを通じて数学的な考察を深めてください。

2　学習の到達目標

①数列や統計の基礎的な内容を理解し、それらを教授するための技術技能を習得する。
②数列や統計の身近な事柄について、数学的に思考し数学的に処理することができる。
③数学のよさを認識し、数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え、社会に生かそうとする。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	数列，統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と社会生活の関わりについて認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数列や統計のやや程度の高い事柄について理解できること。 模擬授業形式の発表において、板書など、発表の計画を作成できること。 事前に作成した発表の段取りに基づいて、適切に発表できること。	数列や統計の学習に粘り強く取り組むこと。 板書案や発表計画の作成･改良に粘り強く取り組むこと。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	等差数列と等比数列	1．数列と一般項 2．等差数列 3. 等差数列の和 4．等比数列 5．等比数列の和	a ： 等差数列・等比数列の性質を知り、理解し、公式等を適切に使えるようになる。 b：等差数列、等比数列の性質を理解したうえで、隣接する項の関係などを考察することができる。また、自らの言葉でそれらのことを表現することができる。 c：日常生活において、等差数列や等比数列がどのように生かされているかを興味を持って調べ、さらに理解を深めようとする。	考査	提出物 考査 レポート	机間指導 レポート 発表
2	いろいろな数列	6．和の記号Σ 7．階差数列 8．いろいろな数列の和 9．漸化式	a：Σ、階差数列、その他の様々な数列についての性質を知る。 b：Σ、階差数列、その他の様々な数列について、基本的な公式等を用いて適切に解決できるようになる。 c：Σ、階差数列、その他の様々な数列について、身の回りにある現象について興味を持ち、数学的に捉え、問題解決を図ろうとする	考査	提出物 考査 レポート	机間指導 レポート 発表
		10．数学的帰納法	a：数学的帰納法を用いて等式，不等式，自然数に関する命題を証明できる b：自然数 n に関する命題の証明には，数学的帰納法が有効であることを理解している。 c：数学的帰納法を利用して，いろいろな事柄を積極的に証明しようとする。	考査	提出物 考査	机間指導 レポート 発表
2 3	確率分布、統計的な推測	1．確率変数と確率分布 2．確率変数の期待値と分散 3．確率変数の和と積	a：確率変数、確率分布等の用語について理解し使えるようになる。また、基本的な公式を理解し、使えるようになる。 b：　確率分布の公式を利用し、様々な考察を行うことができる c：確立分布の知識を利用し、身の回りにある出来事を数学的に表現したり、発表したり、数学的に考察を深めるなど、探究することができる	考査	提出物 考査 レポート	机間指導 レポート 発表

		４．二項分布 ５．正規分布 ６．母集団と標本 ７．標本平均の分布 ８．推定	a:様々な分布や、推定の考え方を理解し、使えるようになる b:様々な分布や、推定の考え方を理解し、様々な事象について考察できるようになる c:様々な分布や、推定について、身の回りに起こっている現象について考察し、自らの見解について持つとともに、それらを社会に生かそうとしている。	考査	提出物 考査 レポート	机間指導 レポート 発表

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度